

運用報告書 (全体版)

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式	
信託期間	2012年12月17日から2027年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Aクラス 国内マネー・マザーファンド	スワップ取引 本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (円ベース) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジなし) A」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジなし) Aにおける高配当株戦略指数 (円ベース) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド (ヘッジなし) Aの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジなし) Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第132期	<決算日	2023年12月25日>
第133期	<決算日	2024年1月25日>
第134期	<決算日	2024年2月26日>
第135期	<決算日	2024年3月25日>
第136期	<決算日	2024年4月25日>
第137期	<決算日	2024年5月27日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース」は、2024年5月27日に第137期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			高配当株戦略指数 (円ベース) (参考指数)	期中騰落率	投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
第19作成期	108期 (2021年12月27日)	円	円	%	7,701.58	%	%	%	百万円
	109期 (2022年1月25日)	5,792	64	2.1	7,876.56	2.1	98.6	0.0	17,015
	110期 (2022年2月25日)	5,848	65	2.1	7,872.67	△0.0	98.4	0.0	17,026
	111期 (2022年3月25日)	5,799	65	0.3	8,560.15	8.7	98.0	0.0	17,150
	112期 (2022年4月25日)	6,169	65	7.5	9,239.71	7.9	96.6	0.0	18,869
	113期 (2022年5月25日)	6,557	65	7.3	8,861.71	△4.1	96.1	0.2	20,822
第20作成期	114期 (2022年6月27日)	6,224	65	△4.1	8,585.37	△3.1	94.9	0.2	21,531
	115期 (2022年7月25日)	5,973	65	△3.0	8,998.54	4.8	94.5	0.1	24,210
	116期 (2022年8月25日)	6,161	65	4.2	9,118.79	1.3	95.8	0.1	28,757
	117期 (2022年9月26日)	6,162	65	1.1	8,781.54	△3.7	96.7	0.1	31,008
	118期 (2022年10月25日)	5,975	65	△2.0	9,402.80	7.1	97.5	0.1	31,518
	119期 (2022年11月25日)	6,191	65	4.7	10,005.43	6.4	96.4	0.1	34,798
第21作成期	120期 (2022年12月26日)	6,394	65	4.3	9,358.06	△6.5	96.7	0.1	37,909
	121期 (2023年1月25日)	6,018	65	△4.9	9,808.09	4.8	96.4	0.1	37,952
	122期 (2023年2月27日)	6,193	78	4.2	9,913.01	1.1	92.6	0.1	43,751
	123期 (2023年3月27日)	6,155	78	0.6	9,475.34	△4.4	94.7	0.1	51,558
	124期 (2023年4月25日)	5,822	78	△4.1	10,178.70	7.4	96.0	0.1	55,324
	125期 (2023年5月25日)	6,138	78	6.8	10,347.57	1.7	96.2	0.1	65,915
第22作成期	126期 (2023年6月26日)	6,142	78	1.3	10,941.43	5.7	97.1	0.1	74,060
	127期 (2023年7月25日)	6,380	78	5.1	11,144.42	1.9	94.9	0.2	87,801
	128期 (2023年8月25日)	6,399	78	1.5	11,164.50	0.2	97.1	0.2	99,337
	129期 (2023年9月25日)	6,321	78	0.0	11,533.34	3.3	97.2	0.2	107,764
	130期 (2023年10月25日)	6,433	78	3.0	11,208.75	△2.8	97.0	0.1	117,712
	131期 (2023年11月27日)	6,170	78	△2.9	11,571.42	3.2	97.7	0.1	118,299
第23作成期	132期 (2023年12月25日)	6,261	78	2.7	11,436.51	△1.2	98.2	0.1	120,941
	133期 (2024年1月25日)	6,114	78	△1.1	11,800.76	3.2	97.6	0.1	118,628
	134期 (2024年2月26日)	6,213	75	2.8	12,347.25	4.6	97.4	0.1	120,700
	135期 (2024年3月25日)	6,357	75	3.5	12,984.28	5.2	98.0	0.1	123,300
	136期 (2024年4月25日)	6,630	75	5.5	13,185.26	1.5	98.0	0.1	129,128
	137期 (2024年5月27日)	6,641	75	1.3	13,536.59	2.7	98.4	0.1	128,797

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクローキータ高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		高 配 当 株 (円 ベ ー ス (参 考 指 数))	戦 略 指 数 騰 落 率	投 資 信 託 資 益 証 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第132期	(期 首) 2023年 11月 27日	円 6,261	% -	11,571.42	% -	% 98.2	% 0.1
	11 月 末	6,227	△0.5	11,488.61	△0.7	98.1	0.1
	(期 末) 2023年 12月 25日	6,192	△1.1	11,436.51	△1.2	97.6	0.1
第133期	(期 首) 2023年 12月 25日	6,114	-	11,436.51	-	97.6	0.1
	12 月 末	6,175	1.0	11,561.94	1.1	97.6	0.1
	(期 末) 2024年 1月 25日	6,288	2.8	11,800.76	3.2	97.4	0.1
第134期	(期 首) 2024年 1月 25日	6,213	-	11,800.76	-	97.4	0.1
	1 月 末	6,295	1.3	11,966.98	1.4	97.9	0.1
	(期 末) 2024年 2月 26日	6,432	3.5	12,347.25	4.6	98.0	0.1
第135期	(期 首) 2024年 2月 26日	6,357	-	12,347.25	-	98.0	0.1
	2 月 末	6,410	0.8	12,368.01	0.2	98.0	0.1
	(期 末) 2024年 3月 25日	6,705	5.5	12,984.28	5.2	98.0	0.1
第136期	(期 首) 2024年 3月 25日	6,630	-	12,984.28	-	98.0	0.1
	3 月 末	6,665	0.5	13,060.49	0.6	98.0	0.1
	(期 末) 2024年 4月 25日	6,716	1.3	13,185.26	1.5	98.4	0.1
第137期	(期 首) 2024年 4月 25日	6,641	-	13,185.26	-	98.4	0.1
	4 月 末	6,644	0.0	13,331.64	1.1	98.4	0.1
	(期 末) 2024年 5月 27日	6,799	2.4	13,536.59	2.7	98.1	0.1

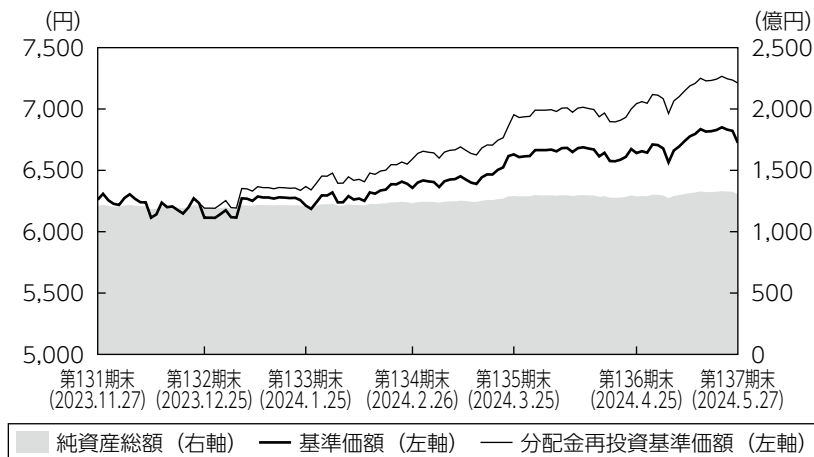
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第132期～第137期の運用経過（2023年11月28日から2024年5月27日まで）

基準価額等の推移



第132期首： 6,261円
第137期末： 6,724円
(既払分配金453円)
騰落率： 15.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジなし）A」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

投資環境

世界主要国の株式市場は上昇しました。米国では、インフレ減速などからF R B（米連邦準備理事会）の早期利下げ観測を受けた金利低下を好感し、2023年末にかけて上昇しました。その後は、堅調な米経済指標や早期の利下げ観測の後退、中東情勢への懸念も強まり、軟調な場面が見られましたが、大型ハイテク株などの決算に支えられて、上昇しました。欧州も米国と同様な動きとなりました。日本は、作成期初、日米の金融政策の方向性の違いに伴う円高を嫌気し、上値の重い展開となりましたが、その後は、欧米同様に堅調に推移しました。

為替市場では円は対米ドル、対ユーロで下落しました。日銀のマイナス金利解除観測が燦る中、2023年末にかけては、米経済指標の下振れなどから米長期金利が低下したことから円高傾向となりました。その後は、米国の早期利下げ期待が後退し、円安・米ドル高傾向となりました。ユーロは対米ドルで、米早期利下げ観測に伴う米ドル安の進展などから、2023年末にかけて上昇しました。その後は、米経済の底堅さが意識されたことや米長期金利の上昇に伴い米ドル高が進展する中、弱含む展開となりましたが、円に対しては上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは、日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除したことから、その後はプラス圏になりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジなし）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

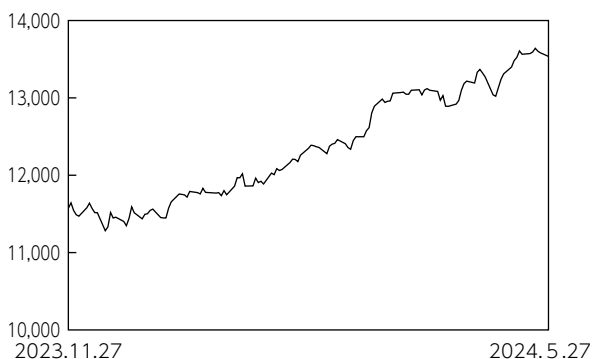
●エクイティファンド（ヘッジなし）A

主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（円ベース）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

高配当株戦略指数（円ベース）の推移



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

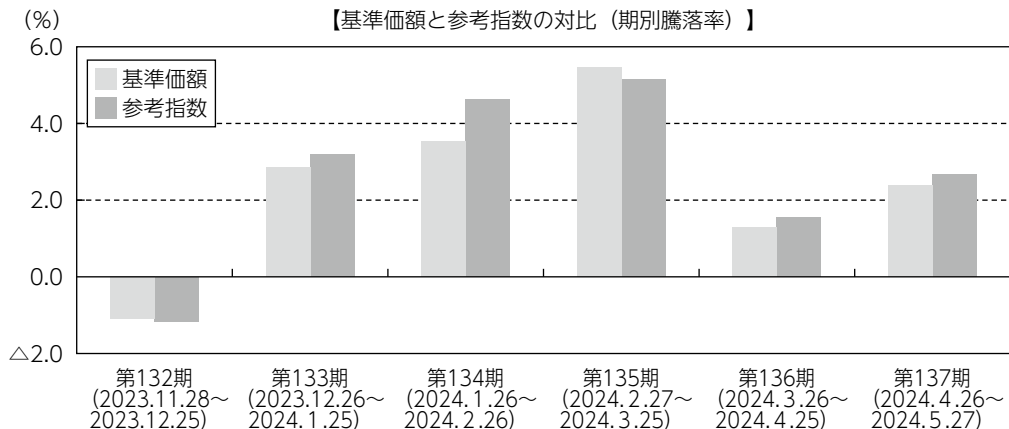
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド
（アンヘッジド） - Aクラスの基準価額の推移



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第132期は1万口あたり78円、第133期から第137期はそれぞれ1万口当たり75円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2023年11月28日 ~2023年12月25日	2023年12月26日 ~2024年1月25日	2024年1月26日 ~2024年2月26日	2024年2月27日 ~2024年3月25日	2024年3月26日 ~2024年4月25日	2024年4月26日 ~2024年5月27日
当期分配金（税引前）	78円	75円	75円	75円	75円	75円
対基準価額比率	1.26%	1.19%	1.17%	1.12%	1.12%	1.10%
当期の収益	78円	75円	75円	75円	75円	75円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	5,001円	5,011円	5,021円	5,033円	5,040円	5,050円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き「エクイティファンド（ヘッジなし） A」を高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジなし） A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（円ベース）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は2024年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。日銀は「当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

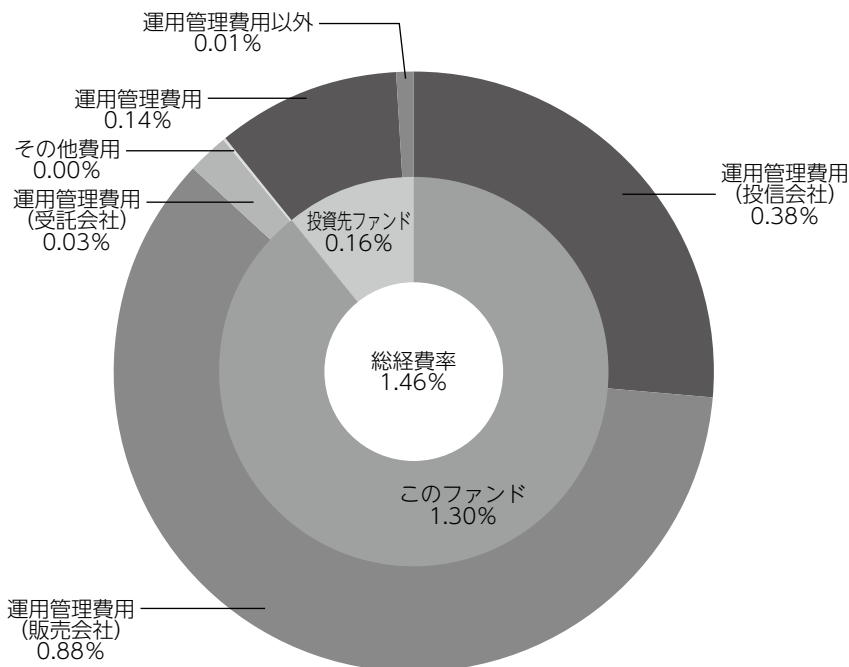
項目	第132期～第137期 (2023年11月28日 ～2024年5月27日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	42円	
(投信会社)	(12)	(0.191)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(28)	(0.438)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	42	0.646	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



総経費率 (①+②+③)	1.46%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドで行われるスワップ取引における指数手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。当該指数手数料は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2023年11月28日から2024年5月27日まで）

投資信託受益証券

		第 132 期 ~ 第 137 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（アンヘッジド）-Aクラス	千□ 2,380,333.872	千円 1,200,000	千□ -	千円 -

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年11月28日から2024年5月27日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2023年11月28日から2024年5月27日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 22 作 成 期 末		第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（アンヘッジド）-Aクラス	千□ 237,006,062.691	千□ 239,386,396.563	千円 128,167,476	% 98.1
合 計	237,006,062.691	239,386,396.563	128,167,476	98.1

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 22 作 成 期 末		第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
国内マネー・マザーファンド	千□ 272,756	千□ 272,756	千円 274,774	千円 274,774

■投資信託財産の構成

2024年5月27日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	128,167,476	96.9
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	274,774	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,865,235	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	132,307,486	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年12月25日)、(2024年1月25日)、(2024年2月26日)、(2024年3月25日)、(2024年4月25日)、(2024年5月27日)現在

項 目	第 132 期 末	第 133 期 末	第 134 期 末	第 135 期 末	第 136 期 末	第 137 期 末
(A) 資 産	120,383,607,074円	122,349,495,332円	125,093,265,349円	130,737,808,108円	130,697,093,075円	132,307,486,591円
コール・ローン等	4,355,017,100	4,519,686,557	3,998,272,236	3,875,507,201	3,739,037,609	3,865,235,467
投資信託受益証券(評価額)	115,753,761,018	117,555,007,094	120,820,191,432	126,587,526,502	126,683,281,061	128,167,476,719
国内マネー・マザーファンド(評価額)	274,828,956	274,801,681	274,801,681	274,774,405	274,774,405	274,774,405
(B) 負 債	1,754,847,387	1,649,495,121	1,792,433,338	1,609,700,077	1,899,438,925	1,644,752,859
未払収益分配金	1,513,436,796	1,457,022,458	1,454,794,608	1,460,823,683	1,454,571,025	1,457,468,638
未払解約金	121,527,697	59,869,266	198,645,892	24,146,674	302,252,914	38,298,429
未払信託報酬	119,672,428	132,370,566	138,749,314	124,511,953	142,366,987	148,727,125
その他未払費用	210,466	232,831	243,524	217,767	247,999	258,667
(C) 純資産総額(A-B)	118,628,759,687	120,700,000,211	123,300,832,011	129,128,108,031	128,797,654,150	130,662,733,732
元 本	194,030,358,479	194,269,661,198	193,972,614,431	194,776,491,196	193,942,803,409	194,329,151,861
次期繰越損益金	△75,401,598,792	△73,569,660,987	△70,671,782,420	△65,648,383,165	△65,145,149,259	△63,666,418,129
(D) 受 益 権 総 口 数	194,030,358,479口	194,269,661,198口	193,972,614,431口	194,776,491,196口	193,942,803,409口	194,329,151,861口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,114円	6,213円	6,357円	6,630円	6,641円	6,724円

(注) 第131期末における元本額は193,181,723,537円、当作成期間(第132期~第137期)中における追加設定元本額は7,862,846,119円、同解約元本額は6,715,417,795円です。

■損益の状況

〔自 2023年11月28日 至 2023年12月25日〕〔自 2023年12月26日 至 2024年1月25日〕〔自 2024年1月26日 至 2024年2月26日〕〔自 2024年2月27日 至 2024年3月25日〕〔自 2024年3月26日 至 2024年4月25日〕〔自 2024年4月26日 至 2024年5月27日〕

項 目	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
(A) 配 当 等 収 益	1,799,504,031円	1,703,739,613円	1,712,538,350円	1,723,421,122円	1,719,325,033円	1,722,590,156円
受 取 配 当 金	1,799,526,820	1,703,779,509	1,712,552,302	1,723,403,957	1,719,170,930	1,722,431,182
受 取 利 息	23	30	41	25,631	154,103	158,974
支 払 利 息	△22,812	△39,926	△13,993	△8,466	-	-
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△3,004,055,710	1,794,879,440	2,657,933,798	5,164,190,706	98,254,822	1,478,807,487
売 買 益	4,658,692	1,801,246,076	2,665,360,138	5,167,335,070	99,785,799	1,484,604,081
売 買 損	△3,008,714,402	△6,366,636	△7,426,340	△3,144,364	△1,530,977	△5,796,594
(C) 信 託 報 酬 等	△119,882,894	△132,603,397	△138,992,838	△124,729,720	△142,614,986	△148,985,792
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△1,324,434,573	3,366,015,656	4,231,479,310	6,762,882,108	1,674,964,869	3,052,411,851
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△6,473,729,145	△9,260,246,551	△7,300,760,826	△4,504,850,322	789,044,764	1,005,977,742
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△66,089,998,278	△66,218,407,634	△66,147,706,296	△66,445,591,268	△66,154,587,867	△66,267,339,084
(配 当 等 相 当 額)	(93,659,357,210)	(93,804,164,581)	(93,681,600,838)	(94,103,556,863)	(93,726,738,250)	(93,938,683,089)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△159,749,355,488)	(△160,022,572,215)	(△159,829,307,134)	(△160,549,148,131)	(△159,881,326,117)	(△160,206,022,173)
(G) 合 計 (D+E+F)	△73,888,161,996	△72,112,638,529	△69,216,987,812	△64,187,559,482	△63,690,578,234	△62,208,949,491
(H) 収 益 分 配 金	△1,513,436,796	△1,457,022,458	△1,454,794,608	△1,460,823,683	△1,454,571,025	△1,457,468,638
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△75,401,598,792	△73,569,660,987	△70,671,782,420	△65,648,383,165	△65,145,149,259	△63,666,418,129
追 加 信 託 差 損 益 金	△66,089,998,278	△66,218,407,634	△66,147,706,296	△66,445,591,268	△66,154,587,867	△66,267,339,084
(配 当 等 相 当 額)	(93,659,357,210)	(93,804,164,581)	(93,681,600,838)	(94,103,556,864)	(93,726,738,265)	(93,938,683,111)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△159,749,355,488)	(△160,022,572,215)	(△159,829,307,134)	(△160,549,148,132)	(△159,881,326,132)	(△160,206,022,195)
分 配 準 備 積 立 金	3,380,967,981	3,544,460,301	3,723,401,487	3,938,969,409	4,028,496,446	4,199,647,307
繰 越 損 益 金	△12,692,568,495	△10,895,713,654	△8,247,477,611	△3,141,761,306	△3,019,057,838	△1,598,726,352

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,679,620,759円	1,639,160,994円	1,658,081,133円	1,692,214,806円	1,584,432,752円	1,642,431,212円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	93,659,357,210	93,804,164,581	93,681,600,838	94,103,556,864	93,726,738,265	93,938,683,111
(d) 分 配 準 備 積 立 金	3,214,784,018	3,362,321,765	3,520,114,962	3,707,578,286	3,898,634,719	4,014,684,733
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	98,553,761,987	98,805,647,340	98,859,796,933	99,503,349,956	99,209,805,736	99,595,799,056
(f) 1万口当たり当期分配対象額	5,079.30	5,086.01	5,096.59	5,108.59	5,115.42	5,125.11
(g) 分 配 金	1,513,436,796	1,457,022,458	1,454,794,608	1,460,823,683	1,454,571,025	1,457,468,638
(h) 1万口当たり分配金	78	75	75	75	75	75

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期
1 万口当たり分配金	78円	75円	75円	75円	75円	75円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) – Aクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（円建て、円ヘッジなし）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決算日	12月末
関係法人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社：ルクセンブルグみずほ信託銀行 保管受託銀行：ミズホ・バンク（USA）
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
その他の費用・手数料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2022年12月31日現在

(日本円表示)

資産	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価：37,217,807,430円)	36,904,697,636
未収申込金	830,000,000
現金	37,459,963,978
資産合計	75,194,661,614
負債	
投資有価証券未払金	1,162,391,650
ブローカーへの未払金	36,359,100,000
未払管理事務代行報酬及び未払保管受託報酬	7,750,853
未払管理報酬	4,559,327
未払専門家報酬	3,447,803
未払受託者報酬	1,945,651
その他の負債	270,758
負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)	37,539,466,042
受益者に帰属する純資産	37,655,195,572
1口当たりの純資産価額	
クラスAファンド証券 (発行済ファンド証券口数 77,528,782,786口)	0.4857

(2) 包括利益計算書

2022年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる受取利息	6,775,402
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益	10,004,233,024
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現（損失）／利益の変動純額	(6,117,387,869)
	3,893,620,557
費用	
管理事務代行報酬及び保管受託報酬	23,226,532
管理報酬	13,586,192
受託者報酬	3,334,383
専門家報酬	3,627,774
その他報酬	292,486
	44,067,367
純投資利益	3,849,553,190
財務費用	
受益者への分配金	(4,009,035,934)
運用より生じた受益者に帰属する純資産の（減少）／増加額	(159,482,744)

(3) 損益を通じて公正価値で測定する金融資産

2022年12月31日現在

(単位：日本円)

	取得原価	公正価値
トータル・リターン・スワップ契約	37,217,807,430	36,904,697,636
	37,217,807,430	36,904,697,636

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第16期 (決算日 2024年1月15日)

(計算期間 2023年1月17日～2024年1月15日)

国内マネー・マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
14期(2022年1月17日)	円 10,091	% △0.0		% 11.7	% -	百万円 385
15期(2023年1月16日)	10,083	△0.1		64.6	-	387
16期(2024年1月15日)	10,076	△0.1		61.4	-	602

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

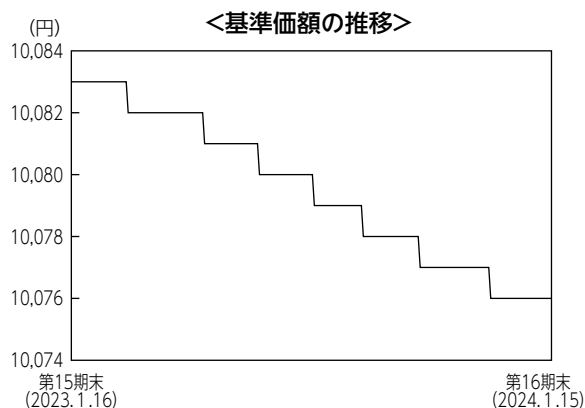
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2023年 1 月16日	円 10,083	% -	% -	64.6	64.6
1 月 末	10,083	0.0	-	64.6	-
2 月 末	10,082	△0.0	-	64.6	-
3 月 末	10,082	△0.0	-	64.6	-
4 月 末	10,081	△0.0	-	64.6	-
5 月 末	10,081	△0.0	-	64.6	-
6 月 末	10,080	△0.0	-	60.6	-
7 月 末	10,079	△0.0	-	60.6	-
8 月 末	10,078	△0.0	-	61.4	-
9 月 末	10,078	△0.0	-	61.4	-
10 月 末	10,077	△0.1	-	61.4	-
11 月 末	10,076	△0.1	-	61.4	-
12 月 末	10,076	△0.1	-	61.4	-
(期 末) 2024年 1 月15日	10,076	△0.1	-	61.4	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2023年1月17日から2024年1月15日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,076円となり、前期末の同10,083円から0.07%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として、保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は2023年12月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む金融緩和政策を維持しました。日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成への確信は持てないとしており、引き続き緩和的な金融政策を維持するものと見られます。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2023年1月17日から2024年1月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 国債証券	370,365	(250,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年1月17日から2024年1月15日まで)

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 370	百万円 50	% 13.5	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期				期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	370,000	370,161	61.4	-	-	-	61.4
合 計	370,000	370,161	61.4	-	-	-	61.4

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘 柄	当 期			期 末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
	%	千円	千円		
(国債証券)					
435回 利付国庫債券(2年)	0.0050	50,000	50,015	2024/04/01	
436回 利付国庫債券(2年)	0.0050	60,000	60,027	2024/05/01	
437回 利付国庫債券(2年)	0.0050	60,000	60,035	2024/06/01	
438回 利付国庫債券(2年)	0.0050	80,000	80,036	2024/07/01	
441回 利付国庫債券(2年)	0.0050	60,000	60,015	2024/10/01	
442回 利付国庫債券(2年)	0.0050	60,000	60,030	2024/11/01	
合 計	-	370,000	370,161	-	-

■投資信託財産の構成

2024年1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 370,161	% 61.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	232,311	38.6
投 資 信 託 財 産 総 額	602,473	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年1月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	602,473,325円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	232,308,544
国 債 証 券(評価額)	370,161,584
未 収 利 息	2,664
前 払 費 用	533
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	602,473,325
元 本	597,957,003
次 期 繰 越 損 益 金	4,516,322
(D) 受 益 権 総 口 数	597,957,003口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,076円

(注1) 期首元本額 384,050,119円
追加設定元本額 222,222,223円
一部解約元本額 8,315,339円

(注2) 期末における元本の内訳

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	272,756,011円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	21,814,391円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース (年1回決算・為替ヘッジなし)	39,526,080円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース (年4回決算・為替ヘッジなし)	188,580,850円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース (年1回決算・限定為替ヘッジ)	5,939,129円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース (年4回決算・限定為替ヘッジ)	4,945,108円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (毎月決算型)	44,446,526円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (年2回決算型)	19,753,462円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (毎月決算型)	97,723円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (年2回決算型)	97,723円
期末元本合計	597,957,003円

■損益の状況

当期 自2023年1月17日 至2024年1月15日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△49,753円
受 取 利 息	15,881
支 払 利 息	△65,634
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△341,902
売 買 損	△341,902
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△391,655
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	3,195,890
(E) 解 約 差 損 益 金	△65,690
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,777,777
(G) 合 計(C+D+E+F)	4,516,322
次 期 繰 越 損 益 金(G)	4,516,322

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。